

ネットワーク北九州

2010. 12
NETWORK
KITAKYUSHU

第4回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰 受賞者決定!

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女が共に働く喜びを感じることが出来る社会環境の実現は、企業と行政が協働で取り組むべき重要な課題です。北九州市では、ワーク・ライフ・バランス推進のため、子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくりに取り組む企業・団体等(個人を含む)を表彰しています。

この度、第4回の表彰企業等を下記のとおり決定し、去る11月17日北九州市庁舎において表彰式を行いました。

市長賞(企業・団体部門)

(財)厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院

八幡西区岸の浦1-8-1 職員数:1025名(うち女性773名)

充実した育児休業制度と院内保育所(病児保育所併設)の設置

法定を超える育児休業制度(3歳に達する日まで)を導入し、職員が離職することなく、安心して子育てに専念できる環境づくりを進めている。また、平成21年秋には、産休後の早期職場復帰を希望する職員のニーズに応じて、病児保育所も併設する、院内保育所を設置するなど、職員の仕事と子育ての両立についても併せて推進している。

富士通コミュニケーションサービス(株) 北九州サポートセンター

小倉北区浅野3-1-6 社員数:509名(うち女性265名)

子育て支援ワーキンググループの活動実績と充実した職場環境

育児休業取得者第1号の女性を中心に、自発的にワーキンググループを立ち上げ、子育て中のママの情報交流会や、「子育て目線」での各種制度の見直し、施設整備を会社へ提言するなどの活動が行われている。職場環境面においても、社員の意見をくみ上げ、休憩室、健康相談室、リフレッシュルーム、サイレントルーム等の設置を行うなどの充実が図られ、グループ内他センターのモデルとなっている。

社会福祉法人敬寿会 美咲ヶ丘

小倉南区大字新道寺1085-1 職員数:84名(うち女性68名)

コミュニケーションのとりやすい職場風土の確立と高い職員定着率

職員が気軽に施設長や人事担当者に対して、仕事の悩みや、業務の改善案、ライフステージにあわせた柔軟な働き方の相談などができる風通しのよい職場風土があり、ニーズの把握や制度の周知などが対面できめ細かく行われている。

また、「利用者へのサービス向上」と「職員の働きやすい職場環境づくり」を、運営の基本理念に掲げ、職員教育の充実と処遇改善の推進が、職員定着率の高さにつながっており、人事考課制度の「見える化」などによる職員のモチベーションアップを図る取り組みも積極的に行われている。



市長賞(個人部門)

杉 信市 杉建築設計事務所 一級建築士

長年にわたり建築設計の仕事と両立して、育児に取り組む「元祖イクメン」

妻は福岡市内で管理職としてフルタイムで働いており、共働き世帯として、平日の夕食の準備をはじめ、保育所の送迎や病児時の通院や看護など、子どもが生まれた時から自然な形で責任を分担してきた。小学5年生の今も、保護者参観等の学校行事にはすべて参加するなど、継続して家事、育児を実践している。また、その育児の経験を生かし、青少年の健全育成のための活動に携わっており、地域の少年指導員、補導員を10年以上にわたって勤めている。

奨励賞(個人部門)

松井 真理子 医療法人真鶴会小倉第一病院 看護師・メディカルイラストレーター

看護師でありイラストレーターという、新しい自己実現のロールモデル

勤務先の小倉第一病院には、本職以外の資格・特技を生かせる「マルチタレント」制度があり、正看護師として業務に従事しながら、特技を生かしイラストレーターとしてもいきいきと活躍している。看護師として働く前には、デザイン事務所などに就職するも体調を崩し退職。一度はあきらめかけたイラストへの情熱をワーク・ライフ・バランスをとりながら看護師としての仕事の中で生かしており、家庭との両立を含め、新しい自己実現のロールモデルとなっている。

詳しくは、折込のリーフレットをご覧ください。

【問合せ先】北九州市子ども家庭局 男女共同参画推進部 TEL 093-582-2405

はじめよう!ワーク・ライフ・バランス <http://wlb-kitakyushu.jp> (北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会)



知と技術の融合 ～技術イノベーションで低炭素社会を切り拓く～ 北九州学術研究都市 第10回 産学連携フェアを開催しました！

「北九州学術研究都市第10回産学連携フェア」が10月27日(水)～29日(金)の3日間、北九州市若松区ひびきの学術研究都市で開催されました。

今回は、三菱重工業株式会社 取締役副社長執行役員の福江一郎氏による基調講演をはじめ、大学、研究機関による22のセミナー・シンポジウム、52機関が出展した展示会などに加え、28日には初めて「国立高専専攻科学生研究発表会及び研究シーズ発表会」が同時開催され、会期中約7,000人の方にご来場いただきました。

(1) 基調講演

「グリーンイノベーションの現状と将来」 三菱重工業株式会社取締役副社長執行役員 福江 一郎氏

なぜグリーンイノベーションなのか。気温上昇を2℃以内に抑えるための世界のCO₂削減シナリオの解説に続き、世界の動きとして、各国のCO₂削減目標及びグリーンエネルギー政策がわかりやすく紹介されました。

そして、日本の進むべき道として、国内のグリーンイノベーション投資である、省エネの高度化、電気自動車(EV)導入、輸送システム改革、再生可能エネルギーの最大導入、原子力の拡大、火力発電の高効率化など、日本はどのように活動すべきかについて、技術的な視点からの事例解説がありました。また、太陽光や風車の導入効果とともに、三菱重工のグローバル展開についても紹介いただきました。

日本の役割として、海外への技術支援と同時に、国内のエネルギー環境インフラの再構築を世界に先駆けて積極的に推進すべきである、とまとめられました。

会議場に集まった400名を超える参加者からは、「多くの技術・統計データを元にしたわかりやすい説明で、三菱重工のグローバル展開について貴重な話を聞くことができた。」「今後の研究開発や企業経営の参考となった。」というアンケート意見が数多く寄せられました。



(2) 展示会

展示会では、52機関が環境・バイオ、半導体・情報アプリケーション、自動車・ロボットなどの分野の先端技術及び大学、産学連携支援機関の研究成果や取り組みを紹介しました。

また、屋外展示として、北九州市が保有するエコカーも展示され、燃料電池車やEV自動車の周りに多くの方々が集まっていました。



(3) セミナー

バイオ、エネルギー、ロボット、自動車関連、産学連携の成果などをテーマとしたセミナー・シンポジウムが3日間にわたって開催されました。

今回は、バイオマス燃料の開発やエネルギー開発、エコフィッティングやナノ触媒など、低炭素社会に対応した最新の技術動向を中心に紹介され、多数の方にご来場いただきました。



(4) 見学ツアー

学研都市の施設を紹介する「施設見学ツアー」や学研都市に進出している3大学の研究室での活動及び研究成果について紹介する「ラボ見学ツアー」に加え、北九州市の低炭素社会への取り組みを見学するバスツアー「低炭素社会体験見学ツアー」を新たに実施し、エコタウンセンターや白島展示館、電源開発を訪問し、参加者が直接に触れられる機会を提供しました。参加者からは、最新技術の現場に触れることができ、有意義であったと好評をいただきました。



【問合せ先】(財)北九州産業学術推進機構 (FAIS) 産学連携センター 担当：安川・佐藤
TEL：093-695-3006 E-mail：fair@ksrp.or.jp

☆ 第1回 営業力強化セミナーを開催 ☆

～営業活動の重要性とその推進～

平成22年10月27日「第1回営業力強化セミナー」が北九州テクノセンターにおいて開催され、経営者、営業管理者など40名の方々が参加されました。自らの豊富な営業体験に基づいた熱血指導が、実践的でわかりやすいと定評の「オフィス未来」代表の麻生祥三郎氏から、営業の意義や成功に結びつけるための営業活動の実践的な進め方について、講義が行われました。その一部を紹介します。

① 営業活動の意義 「顧客満足を実現する営業とは」

会社は、人の役に立つため、また、人の喜びを創造するために存在します。

したがって、会社における営業活動の本質とは、顧客満足を実現するためのものであり、どうすれば顧客が満足できるかを考え、行動するものです。

② 確実に成果をもたらす強い営業チームづくり

営業活動は、会社の発展・衰退を左右する極めて重要な戦略であることから、その目的を会社全体で共有し、成果を上げるためには、リーダー、営業マン、バックアップ、アシストといった社員それぞれの役割と責任を明確にすることが大切です。

③ 飽くなき追求心が成功をもたらす

既存顧客の深耕、新規顧客の開拓のためには、揺るぎない目的意識を持ち、自分に打ち克ち、いかに顧客の奥へ深く入り込むことができるかがポイントです。



熱血指導で定評の
麻生祥三郎氏

【問合せ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課 担当：寺河・井上・仕田原 TEL:093-873-1433

「北九州起業家物語」

起業家物語
【第3話】

日・仏ワイン
文化の架け橋

フランスの最高級「テロワールワイン」を直輸入・販売



ヴァンファン^{もとほま}本浜は、フランスワインを生産者から直接輸入し、販売している会社です。

私たちは、フランスの気候や土壌がもたらす「テロワールワイン」にこだわり、満足のいくワインを厳選して提供しています。テロワールワインは、ぶどう畑の生態系を尊重し、農薬や化学肥料などをなるべく用いず、また収穫や畑仕事は手作業で行われるなど、フランスの昔ながらの伝統的な手法で製造されています。

創業の相談で訪問した中小企業支援センターでは、会社の設立方法や販売促進の方法についてアドバイスをいただきました。特に、商品販売の面において、他業種とのコラボレーションの方法やギフト用としての商品販売のポイントなど、ワインという商品特性を踏まえた専門的なアドバイスをいただきました。

現在、フランスワインを日本の皆さんにも親しんでもらえるよう、「ワイン講座」を魚町商店街で開催したり、「フランス料理とワインのタベ」といった地場有名ホテルとのタイアップ事業も進めています。

- 会社名：株式会社ヴァンファン本浜
- 代表：本浜 陽子(日本)、 シュミット ヴァンサン(フランス)
- 業種：フランスワインの直輸入販売
- 創業：平成21年4月
- 所在地：北九州市八幡西区大字野面 1890
- TEL:093-618-8330 FAX:093-617-0517
- ホームページ：www.vinsfinsmotohama.com



この看板が目印
です



(写真左) シュミット ヴァンサン

【問合せ先】 (財)北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター TEL 093-873-1430

「エコ住宅関連分野進出セミナー」に注目集まる！

“北九州エコハウス”設計者 牧 敦司先生に学ぶエコ住宅事業参入のポイント

去る10月28日北九州環境ミュージアムで開催された「エコ住宅関連分野進出セミナー」では、“北九州エコハウス”の設計者 牧 敦司先生による基本コンセプトの紹介などの講義とともに、エコハウスの見学を行いました。

＜“北九州エコハウス”の特徴と機能＞

北九州エコハウスは、ストック型都市への転換を進め、併せて家庭での省エネ型ライフスタイルの提案を行うため、八幡東田地区に本年4月オープンしました。

基本コンセプトとして、

- ①環境共生に関する普遍性の高いデザインを採用（自然風の享受、自然エネルギーの利活用、断熱性の確保など、環境基本性能の重視及び長寿命化）
- ②古くからある技術と新しい技術・製品の融合活用（土間玄関、エコ縁側、すだれ、塗り壁など、古くからある技術・素材の採用と、本市認定のエコプレミアム製品など新しい技術・製品の採用）

を掲げています。

地元建築関係者の方々が増知識や技術を高めるモデルハウスとしての活用も期待されています。

＜エコ住宅事業参入のポイント＞

- きめ細やかな提案で、違いを明確に

エコ住宅に関連する設備機器の正しい知識を習得し、設備導入のコストとCO₂削減効果をユーザーに正確に伝えるなど、きめ細やかな提案を行うことで、大手との差別化を図りましょう。

- 地域密着のメリットを活かす

新設住宅の約7割が在来工法で、そのうち6割を地場工務店が手がけています。地形や気候などの地域の環境特性を熟知し、地域における信頼や独自の人脉を持つ地場工務店ならではのメリットを活かしましょう。

- ネットワーク作りを積極的に

国や県・市とのネットワークづくりの他にも、共同購入や勉強会など地場企業相互のネットワークを構築しましょう。

北九州エコハウス



室内見学風景



セミナー風景



講師：牧 敦司 氏



【問合せ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課 担当：森・城戸 TEL:093-873-1433

年末の融資申込みはお早めに！

年内に融資を受けるためには、12月15日（水）までの信用保証協会の受付が必要です。ご注意ください。各種申請や融資申込みは、お早めをお願いします。

【問合せ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課 TEL：093-873-1433



…製造事業所の皆様へ…

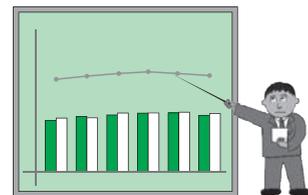
工業統計調査にご協力ください

経済産業省
福岡県
北九州市

経済産業省では、「工業統計調査」を平成22年12月31日現在で実施します。この調査は、製造業を営む事業所を対象に、その活動実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関、小・中・高等学校の教材など、幅広く利用されています。

皆様から提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されます。 経済産業省のホームページ：<http://www.meti.go.jp/statistics/>



【問合せ先】 北九州市企画文化局政策部企画課統計係 TEL：093-582-2135